

No. 9

会 報

前 林 協

MAERINKYO

〒371-0035

群馬県前橋市岩神町四丁目17番3号

前橋国有林森林整備協会

TEL:027(235)5150 FAX:027(235)5147

URL:<http://www.maerinkyo5150.com/>

E-mail:[maerin5150@yahoo.co.jp](mailto:maerin5150@yahoo.co.jp)



群馬県 赤城大沼

◇ 記事の内容 ◇

- 年頭のご挨拶
- 局長へ要望書を提出
- 森林林業中央研修会に会員多数出席
- 「安全優良職長厚生労働大臣顕彰」  
株式会社 見晴屋林業 梅沢祐一主任受賞！



## 年頭のご挨拶

前橋国有林森林整備協会

会長 高山光男



新年明けまして  
おめでとうござい  
ます。

皆様には、平成  
27年度の新春を新たな気持ちでお迎  
えのことと心からお慶び申し上げま  
す。また、常日頃より当協会の運営  
にあたりまして格別のご理解とご支  
援を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年は、広島市での土石流災害を  
始め、相次いだ台風に加え、各地で  
局地的な集中豪雨による災害や御嶽  
山の火山噴火、長野県白馬村を震源  
とする長野北部地震などの災害に見  
舞われ、いまだに災害の傷跡が各地  
で生々しく残され、改めて、災害に  
強い森林づくりや防災対策の強化の  
必要性を痛感されられた年でもあり  
ました。

さて、林野庁では、人工林が本  
格的な利用期を迎える中で豊富な  
森林資源を循環利用していくこと  
により、林業の成長産業化を図つ  
ていくことが重要と考えられ、こ  
のため、地球温暖化防止など森林  
の多面的機能が発揮されるよう森  
林整備を推進していくとともに、  
地域材の安定的・効率的な供給体  
制の構築、直交集成板（CLT）  
等新たな製品・技術の開発、普及  
や地域材の利用促進、担い手の確  
保・育成など総合的な取組が進め  
られています。今後、林業の成長  
産業化や森林吸収源対策、齢級の  
平準化に向けた取組を積極的に推  
進していくため、その際の収穫量  
（計画）については、間伐をこれ  
までと同水準とすれば、主伐につ  
いては、年々増加する見通しで、  
立木販売の推移では全国レベルで  
平成27年度では対平成25年度比で  
2.1倍の計画量となっています。そ  
んな中で森林管理局間で取組の温  
度差はありますが、皆伐箇所での

立木販売と地枿・コンテナ苗植栽ま  
での一貫請負作業や植栽時にネット  
網を被せて獣害防止や下刈作業を省  
力化させる取組などの低コスト化推  
進等について検討・導入がなされよ  
うとしているところです。また、そ  
の一方で素材生産事業や林道事業に  
おいて、発注量の大型化によって対  
応不可能な事態が生じたことも事実  
であります。これを契機として更に  
当協会では会員相互の連携を密にし  
て、知恵を出し技術提案や地域林業  
の担い手として地域経済の活性化に  
資するよう、また、国有林野事業の  
良きパートナーとして貢献出来るよ  
う努めて参りますので会員皆様方  
のご理解とご支援をよろしく願ひ致  
します。

労働安全衛生については、事業量  
の拡大とともに災害発生件数も増え  
る傾向にあり大変危惧しているところ  
であります。魅力ある森林・林  
業とは、安全作業の徹底が基本とな  
ります。労働災害を防止するためには、  
経営トップが率先して安全パト



ロールを実施するなど、強いリーダーシップをもって取り組む姿勢と、労働者の方々にも労働災害防止の共通認識を持っていただき、関係者が一丸となって安全衛生活動を着実に実行していかねばならないと考えます。従って、当協会においても、各事業体の安全衛生水準の向上を図るため、労働災害防止措置、安全衛生教育等に係る業務を担当し、必要に応じ各事業体を巡回し、労働者の安全衛生を推進する安全推進員を各ブロックに選任し、巡回する体制も整えたところです。

いかなる経済情勢下にあっても、労働災害は本来あってはならないものです。会員の皆様には、労働災害による犠牲者は絶対出さないという強い決意のもと、安全衛生活動を強化していただきますようお願い致します。

結びに、会員皆様の益々のご健勝とご発展を祈念申し上げます、年頭のご挨拶とさせていただきます。

## 謹賀新年



本年もどうぞよろしくお願い致します

平成27年 元旦



同	監事	専務理事	同	同	同	同	同	理事	副会長	会長	
堀川正一郎	水野武雄	目黒文彦	阿部功	相川清治	高橋文子	監物幸夫	菊地正人	大須賀浅吉	平子作磨	富沢正男	高山光男

## 志田局長へ要望書を提出！

### 要 望 書

謹啓 貴局におかれましては益々ご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

日頃より、当協会の業務運営に対しまして、ご指導・ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当協会に所属する林業事業体は、各地域の農山村を基盤とし、地域の森林整備を担う者の中核として、国有林・民有林の森林整備事業に愛着と誇りをもって事業を実行し、地域との密接な関係を築きつつ、地域産業経済の発展にも寄与しているところです。

森林は、水源かん養、国土保全、地球温暖化の防止、木材をはじめとする林産物の供給等の多面的機能を有しており、国民生活及び国民経済に大きく貢献しております。

また、近年集中豪雨や地震等による激甚な災害が各地で発生し、甚大な被害をもたらしたところであり、速やかな復旧整備が急務となっております。

このため、今後も継続して地域林業の担い手として希望をもって、森林整備事業等に取り組めるよう下記事項について特段のご支援を賜りますようご要請申し上げます。

### 記

#### 1 森林整備予算の確保と拡充について

森林の安定的な発展と山村の活性化を図って行くためには、林業労働者の確保と通年作業可能な事業量の確保が極めて大切であります。つきましては、平成26年度補正予算において、森林・林業の活性化に資する予算確保並びに平成27年度予算において、国有林を始めとする森林整備のための予算、木質バイオマス利用促進を含む一層の木材需要の拡大、素材生産事業の活性化等のための予算の拡充を要請します。

#### 2 事業の発注について

山村の活性化や雇用の拡大のためには、林業労働者の確保は重要であります。従って、雇用の安定を図るため通年作業可能な事業量の確保と切れ目のない計画的発注並びに早期発注を要望します。

また、複数年契約事業や複数種による組み合わせ発注の拡充をお願いします。

#### 3 造林・素材生産事業部門の優良表彰規定の新設

過去の事業成績評定点による森林づくりの実績や地域の国有林保全管理への貢献、日々の技術研鑽や過去からの無災害期間など安全衛生管理の取組が正当に評価され、各事業体が将来にわたり希望をもって取り組めるよう、新たな表彰制度の新設を要望します。



#### 4 事業体への育成指導

各事業体は言わば「情報過疎」の状態で、大きな不安を抱えながら仕事をしているのが実態です。従って、事業体への育成指導の強化やきめ細かな情報提供を要望します。

#### 5 事務処理等の迅速化

事業実行上で生じた諸問題に対して、迅速な処理に努めていただくよう要望します。

今後も引き続き造林・素材生産事業の安定的な事業発注等々について、ご配慮を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

敬具

平成26年12月18日

前橋国有林森林整備協会  
会長 高山 光 男



◎ 志田局長に要望書を手渡す  
高山会長

局長に要望内容を説明する各役員 ◎



## 森林林業中央研修会に 協会員多数参加!

全国国有林造林生産業連絡協議会（会長 高山光男）と全国素材生産業協同組合連合会（会長 川井喜久博）合同の『平成26年度森林林業中央研修会』が新年1月9日に東京飯田橋のホテルメトロポリタンエドモントにおいて開催され、年々進化する国の施策や時代の要請に対応できるようにと当協会員52名が全国300名の会員に混じって研修会に参加した。

この研修会は、「森林・林業基本計画」等に基づく森林整備の着実な推進とともに、新たな木材需要の創出と強い林業づくりの取組、労働安全の確保などについて、会員である各事業体が研修を通じて共通の認識に立った事業展開に資することを目的として、毎年開催されており、全国から多くの参加者が集結しているもので、森林整備事業を通じて地域社会の活性化を図るとともに、森林林業の担い手としての強い使命感をもって仕事を展開していくという表れでもあると思います。

### 森林林業中央研修会カリキュラム

時 間	演 題	講 師
13:00～13:10	林野庁幹部挨拶	林野庁国有林野部長 黒川 正美
13:10～13:50	林業事業体を巡る諸情勢について	林野庁経営課長 橋本 裕治
13:50～14:30	国産材の安定供給に向けた取り組み	林野庁木材産業課長 小島 孝文
14:30～15:10	民有林とも連携した国有林の新たな取り組みと技術開発	林野庁業務課長 小山 富美男
15:10～15:20	(休 憩)	
15:20～16:00	再生エネルギーの現状と課題	経済産業省新エネルギー対策課 課長補佐 青木 洋紀
16:00～16:50	新たな作業システムへの挑戦	東京大学大学院農学生命科学研究課 教 授 酒井 秀夫
16:50～17:00	(修了証書の授与及び連絡事項)	



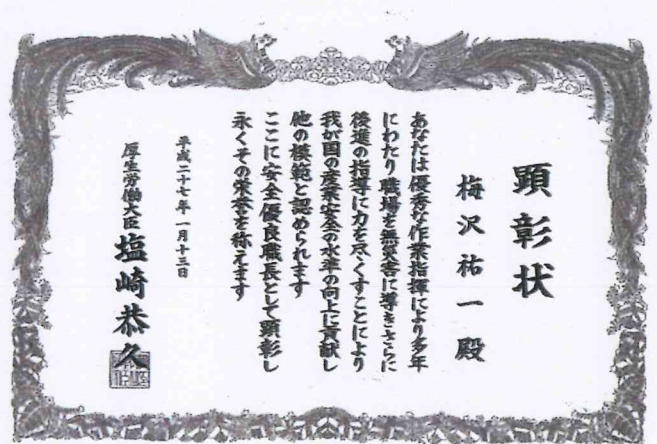
## 平成26年度「安全優良職長厚生労働大臣顕彰」受賞者に 株式会社 見晴屋林業に勤務する梅沢祐一主任に決定!

全国で優れた技能と経験を持ち、担当する現場や部署で作業を確保して優秀な成績を挙げた「安全優良職長133名」の一人として厚生労働大臣から顕彰することが決定され、この程、平成26年12月11日付け基発1211第1号をもって、厚生労働省労働基準局長から平成27年1月13日（火曜日）東京都千代田区霞が関1-2-2厚生労働省講堂（中央合同庁舎5号2階）において、厚生労働大臣顕彰式典を執り行うので出席されるよう招待状が届いた。

この制度は、労働災害による被災者数が約53万人（平成25年度）を上回る中、高い安全意識をもって適切な安全指導を実践してきた優秀な職長を顕彰することにより、その職長を中心として事業場や地域における安全活動の活性化を図ることを目的とし、平成10年度から実施されており、今年度が17回目となります。

梅沢祐一主任は、従業員16人を率いる班長として平成14年から勤務しており、数々の経験を積み、高度な技能や知識をもった作業のエキスパートであり、的確な作業指揮により職場を無災害に導く良き指導者であると全員が認め、納得しているところです。

式典に同行した富沢佳史専務は、「梅沢主任には今後も『安全作業のエキスパート』として事業場で部下の作業員を直接指導監督し、作業の安全確保・遂行に責任を持ち、第一線において安全を実践する者として益々期待をしている人です。」と話してくれました。



協会の主な動き

11月4日 新潟県森林まつり

11月12日 年末調整事務説明会

11月26日 関東地区広域原木流通協議会

12月11日 大間々林協安全会議(大間々町)

12月18日 利根川上流森林計画区の国有林の

管理経営に関する意見交換会

(沼田市)

12月18日 臨時理事会並びに局長陳情

12月26日 仕事納め

△△今後の予定△△

平成27年

1月5日 仕事始め

1月9日 森林林業中央研修会

1月26日 前林協情報交換会

2月19日 関東森林管理局森林林業・

技術等交流発表会(前橋市)

2月24日 林業事業者との意見交換会(前橋市)

2月26日 全造生協 第二回理事会(東京都)



編集後記

「安全の足並み揃えて 手を抜かず 年末年始もゼロ災害」のスローガンの下で年末年始無災害運動が行われております。

年末年始は仕事で慌ただしくなる上、飲酒機会の増加やインフルエンザの流行などにより体調不良になりやすい時期でもあります。バランスのよい食事、適度な運動、十分な睡眠、適量の飲酒など健康管理に気をつけましょう。さらに、車やバイクを運転中、先を急ぐあまり一時停止を怠ったり、運転に集中していないと事故の原因になります。また、朝晩や降雪後の日陰などでは路面が凍結し、スリップ事故が発生する危険性があります。ヒヤリハットなどを活用して防衛運転を心がけましょう。

今年一年が皆様にとって良い年でありますようにご祈念申し上げます。

本年もどうぞよろしく

お願い致します

m(\_ \_)m

